

平成21年度 防衛大学校開校祭 第33期 HVD

平成21年度 第57回防衛大学校開校祭が晴天の元、小原台で11月7日、8日と開催され、二日間で国内外から約24,000名が訪れた。

本館と入場口



その中で、第33期生の卒業20周年記念懇親会が、防大同窓会 HVD（ホーム・ビジット・デー）事業部の支援により行われた。

9時からの受付が開始され、懐かしい顔が集まった国防論教育室の玄関に久しぶりの挨拶を交わす同期生の声が溢れた。



この後、同窓会の HVD 担当者と33期生の代表者が防衛学群長、幹事そして学校長のもとを表敬し、今日の同窓会の実施を報告した。



防衛学群長表敬



幹事表敬

学校長表敬

学校長からは「防衛の務め」の復刻版の発刊についても紹介があり、防大同窓会の活動の一環についての話もあった。



10時から第33期卒業生と家族の集合写真が撮影された。



記念撮影の後。記念植樹、そして観閲式の見学が行われ、11時からは、ブルーインパールの飛行展示、学生の観閲行進、そして陸上自衛隊空挺団のパラシュート落下訓練展示を観賞した。



記念植樹



観閲式

学校長の式辞では、「防衛の務め」復刻版のことや本日 HVD が開催され、33期卒業生が家族を含めて卒業20周年の同窓懇親会を行っていることも紹介された。



先崎会長挨拶

この後、懇親会式典会場に移動して、第33期卒業生153名。家族を含めた235名、過去4回のHVDでは最大の参加者が一堂に会した。

懇親会の終わりには、防大同窓会先崎会長から「今防大33期生が、自衛隊の中核をなし、忙しい配置にそれぞれがあるが、このときこそ何かひとつ新しい自己啓発の種を育て欲しい。」という言葉があった。「忙中に閑を求める」の教訓を披露した。

